

冷凍食品の包装設計第3報

袋詰め冷凍食品の段ボール包装の方法

森高明

冷凍食品の段ボール包装は大きさや重量が不均一で、小口混載状態で輸送されているため、輸送中の振動や衝撃が多くなっていると考えられたので、個装フィルムの損傷防止のため、段ボール包装の方法を検討した。

1. 個装フィルムの損傷は振動回数より振動の変位の大きさの影響が大きかった。
2. 個装用袋は振動によって衝撃強度が弱くなった。
3. 段ボール包装した貨物を集合して結束すると、個装フィルムの損傷が少なくなった。
4. 袋詰め冷凍食品の段ボール包装は、かさ比重を大きくするような包装方法を考慮しなければならないが、ポリエチレンの袋で内装して段ボール包装すると、かさ比重が大きくなり、かつ振動による個装フィルムのピンホール発生が少なくなった。